

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハーモメイト水溶剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
FAX 番号	03-4212-9676
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
SDS 作成日	2006年04月13日
改訂日	2024年09月27日(05版)
推奨用途	農薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート（SDS）をご参照ください。なお、次頁以降のSDS中の製品名や登録番号等が弊社の商品と異なる場合がございますが、弊社の商品名等は本頁の記載の通りとなります。当商品に関するお問い合わせは次頁以降の連絡先ではなく、本頁に記載の連絡先までお願いいたします。

この頁と次頁以降を分離して使用しないでください。分離して使用された場合、当商品の状況を示すSDSとは異なるものとなり、分離したSDSに従い当商品が使用されたことに起因して事故、不具合が生じても、弊社はその損害につき責任を負いかねます。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒110番 365日24時間対応
一般市民専用電話（情報料無料）
（大阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1件2000円）
（大阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料1件につき2,000円を徴収します。

安全データシート

ハーモメイト水溶剤

作成日：2012年 4月 1日

改定日：2022年 7月 26日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：ハーモメイト水溶剤
 会社名：片倉工業株式会社 片倉養蜂場
 住所：〒399-0702
 長野県塩尻市大字広丘野村字角前 1819 番地 1
 電話番号：0263-88-7043
 FAX 番号：0263-88-7044
 緊急連絡先電話番号 同上
 推奨用途及び使用上の制限 農業用殺菌剤 農薬登録範囲外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚感作性	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 1
	水生環境慢性有害性	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：警告
 危険有害性情報：水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き：
【安全対策】
 環境への放出をさけること。
【応急措置】
 漏出物を回収すること。
【廃棄】
 内容物や容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

単一性品・混合物の区別： 混合物
 一般名： 炭酸水素ナトリウム水溶剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
炭酸水素ナトリウム	80.0%	NaHCO ₃	1-164	—	144-55-8
界面活性剤等	20.0%	—	—	—	—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物： 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、保温する。必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： 速やかに多量の水及び石けんで洗い流す。必要な場合は医師の診断及び手当を受ける。
 目に入った場合： 直ちに清浄な水で眼を数分間注意深く洗い、医師の診断及び手当を受ける。
 飲み込んだ場合： 直ちに医師の手当、診断を受ける。口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消化剤： 粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂など。
 使ってはならない消火剤： 酸性の消火剤
 特有の危険有害性： 火災時に有毒ガスが発生するおそれがある（炭酸ガス、一酸化炭素等）。
 特有の消火方法： 消火作業は風上から行う。
 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
 消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び環境に対する注意事項： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用。
 環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
 回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材： 飛散したものを掃き集めて、出来るだけ回収する。
 二次被害の防止策： 特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

注意事項：	容器を転倒、落下させ、衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。
安全取扱注意事項：	<p>全体換気の設備がある場所で取扱う。</p> <p>取り扱う前には必ずラベルをよく読むこと。</p> <p>すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>吸湿性があるので、容器は使用の都度密閉すること。</p> <p>接触、吸入又は飲み込まないこと。</p> <p>取り扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに、取り扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。</p>
保管	
技術的対策：	特に技術的対策は必要としない。
保管条件：	密栓し直射日光をさけ、食品と区別しなるべく低温で乾燥した場所に保管すること。
混触危険物質：	「10. 安定性及び反応性」を参照
容器包装材料：	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
<hr/>	
8. ばく露防止及び保護措置	
管理温度：	設定されていない。
許容濃度：	
日本産業衛生学会 (2009年版)：	記載なし
ACGIH (2010年版)：	記載なし
設備対策：	屋内使用の場合、局所排気装置を設置する等換気に留意すること。
保護具	
呼吸器の保護具：	防じんマスク
手の保護具：	不浸透性手袋
目の保護具：	保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖・長ズボン・長靴。つなぎの着用を推奨する。
<hr/>	
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など：	類白色粉末
比重 (見かけ)：	0.56 g/cm ³
粒度：	45 μm以下
水溶解性：	7分以内
吸湿性：	あり
<hr/>	
10. 安定性及び反応性	
安定性：	不燃性
危険有害反応可能性：	成分の炭酸水素ナトリウムは酸と反応し炭酸ガスを発生する。
避けるべき条件：	加熱により約 60℃以上で炭酸ガスを発生し、炭酸ナトリウムを生ずる。この分解は、水溶液では約 60℃以上で起こる。
<hr/>	
11. 有害性情報	
急性毒性：	<p>経口 ラット ♂♀ > 5000 mg/kg</p> <p>経皮 ラット ♂♀ > 2000 mg/kg (炭酸水素ナトリウム)</p>
皮膚刺激性：	弱い刺激性
眼に対する重篤な損傷/刺激性：	弱い刺激性
皮膚感作性：	感作性なし (類似組成物より)
<hr/>	

12. 環境影響情報**生態毒性：**

魚	コイ	LC50	22.6 mg/L (96hr)
甲殻類	オオミジンコ	EC50	14.3 mg/L (48hr)
藻類	藻類	ErC50	0.0635 mg/L (72hr)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	水を加えて希薄な水溶液とし、酸で中和させた後、多量の水で希釈して流す。多量の廃液を下水や河川に直接流してはならない。
汚染容器及び包装：	空容器や内容物が付着しているおそれのある容器は、十分に水洗した後、廃棄する。

14. 輸送上の注意**国際規制**

国連分類	該当しない
国連番号	なし
容器等級	なし
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

農薬取締法：	登録番号第18787号
化学物質排出把握管理促進法： (P R T R法)	非該当
労働安全衛生法：	非該当

16. その他情報

引用文献： 自社データ

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の手続きを对象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

その他の連絡先： 中毒110番

(財団法人) 日本中毒情報センター

<一般市民専用無料電話>

大阪中毒110番	(365日 24時間対応)
072-727-2499	(情報提供料：無料)
つくば中毒110番	(365日 9時～21時対応)
029-852-9999	(情報提供料：無料)

<医療機関専用有料電話>

大阪中毒110番	(365日 24時間対応)
072-726-9923	(1件につき2,000円)
つくば中毒110番	(365日 9時～21時対応)
029-851-9999	(1件につき2,000円)

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円が徴収されます。